

令和5年4月教育委員会定例会会議録

日時 令和5年4月20日（木）

10:00～12:10

場所 総合文化会館 研修室3

出席者：森田教育長、小柳委員、馬場委員
山下委員、松尾委員

事務局：朝長次長、太田係長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 全員出席

2. 会議録署名委員氏名

馬場委員、松尾委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

（3月定例会の会議録を確認。）

4. 報告事項

1) 教育委員会

3・4月事業報告、4・5月予定について

（別紙により朝長次長報告）

2) 給食センター

3・4月事業報告、4・5月予定について

（別紙により太田係長報告）

※報告事項（追加・その他）

森田教育長

少しつけ加えたり変更したり、私の方から報告いたします。3ページに戻っていただいて、18日に農村環境改善センターで、社協主催で徘徊模擬訓練が実施されています。子供たちから高齢者まで参加されて、貴重な経験ではなかったのではないかと思います。

ネット環境の容量につきましては、学校で一斉に使用したら、パンクしてしまう現状が出ていましたので、それを解消するために増量の工事を昨年夏に試してみましたが、それでもうまくいきませんでした。原因がよく分かっていませんが、ただ県学とか全学のテストには支障はあっていません。そういう状況でしたので、夏の反省を受けて3月末にも行いましたが、それでもまだ完璧ではありません。やってみないと分からないという状況で、その原因も分からないという状況も続いています。1,200人の子供たちが一斉に使うということは無いはないと思います。そういった状況が残念ながらまだ続いています。

先ほどのロードレースの部分で、4年ぶりの開催や、荒天とかいろんなことの条件が重なって、事務局側のミスが続発しました。スタートのミス、3キロは先ほど言ったことに加え、「ゆたか」から左折するところを「山口石油」から左折させたミスもありました。2ヶ所間違っていました。幾つかの間違いが今回は数多くあったというのが私たち事務局側の本当に大きな反省でした。ただ直ぐにホームページでまず謝罪をあげました。そのことがある意味良かったのか、誹謗中傷、批判意見といったものがほぼありませんでした。その後すぐ文書をもって、先ほど次長が言ったように、3キロについては全員に返金するというお知らせをしました。もちろん補正的なものを行いました。この対応は、失敗を私達自身反省しながら、早々にそして丁寧に出たことが一つ良かったところかなと思っています。そして、来年度に向けてどう改善していくかということで、先ほど言ったように、一つのグループを終わらせて、次のグループに入っていくなどの対応をしていきたいと思っています。このような改善で良い方向に行けばということを期待しながら、最終的には、コロナ以前の1,500人まで参加者が戻れば良いかなと思っています。陶器まつり期間中に行っていた時は2,000人でした。3月に移ってからは、大体1,400から1,500が一つの目標になっています。今年が1,150人でしたので、もうちょっと頑張って広報啓発を行っていききたいと思っています。

2日の日には、講堂でスケッチ大会がありました。10日の日には波佐見高校、川棚高校含めてですが、県立高校で4年ぶりに来賓参加の入学式ということで案内がありましたので、委員さんも波佐見高校の入学式に参加をいただいたことをありがとうございました。

先ほどの臨時校長会、ICT支援員さんとの意見交換でした。その中で出てきたことが、今後のICTの教育を進めていく上で、一つは、授業にいかに関し学力向上にどうつなげていくかという視点と、インターネットを使いたいじめとか、トラブルのことでした。非行とか問題行動からどう救っていくかという、この2点の部分に対して、これからどう関わっていかなければならないのかということが大きな議題でした。ありがたいことに、今来ていただいている富田さんというICT支援員さんは、かなりレベルが高くて、自分でタブレットのハードを直されます。中々こういった支援員さんはいません。彼が、自作でタブレットにSOSボタンみたいなものを作ってくれてはいますが、なかなかそれを開く時間が先生方にないという状況です。実際、子供たちがきついとか、辛いとか、苦しいとかいうことがあれば、相談ボタンを押せば、先生方にメールが飛ぶようなソフトを作ってもらっていますが、先生方にそのメールをチェックする時間が殆どない状況です。そういった相談ボタンとはどういうものかと説明を受けました。また、県が推奨するシーフォース支援ソフトがなかなか使い勝手が悪く、もう現場はそれに慣れることで精一杯という現状で、この校務支援ソフトとタブレットをうまく使って、先生方の負担を和らげてやるということが大きな話題でした。学校側の要望や意見を確認しながら、来年度に向けて、どういう対応ができるかということの、率直な意見交換が

出来たことはとても良かったと思っています。

郡内中高生の定期合同演奏会ですが、久しぶりに東彼杵中学校が参加をしてくれました。東彼杵中の部員が今まで少なかったのに、一番多く17～18人でした。残念ながら、今2年生3年生が川棚中学校も波佐見中学校も、吹奏楽部の部員は14名です。今回、新入生に部活動案内をしたところ、波佐見中の入部希望の1年生が4名しかいないということでした。川棚中学校は7～9名ぐらいいたそうですが、波佐見中学校は4名しか入部希望が無かったので18名の部員で、郡内で一番小さな吹奏楽部になってしまいました。去年は30名近くいて、郡内で一番大きかったのですが、そういう現状なので、少し声かけをしていかなければと思っています。

次のページ、24日、来週の月曜日ですが、学校サポーターの方を募集している中で、今10名の方が申し込んでいただいています。南小学校に3名。中央小学校に3名、中学校に2名、東小に2名の合計10名の方が手を挙げていただいています。既に活動を始めている方もいらっしゃる、今度からという方もおられ、1回目の顔合わせ会を、24日に計画をしています。思いだとか、お願いすることなどをお伝え出来たら良いかなと思っています。地域の方々に、学校にどんどん入ってきていただいて、子供たちのお手伝い、サポートいただければ良いかなという願いを込めて行っています。

5月予定の12日、PTA連合会のところには、自治会長会議もあります。自治会長会も予定どおり行われます。

それと運動会については、午前中開催に3小学校ともなります。コロナの影響で午前中開催でしたが、コロナに関係なく、もう基本的に、小学校も中学校も午前中開催のお弁当なしになると思います。方向性としては、全国的に多分そうなっていくだろうと思っています。

29日、後で理事会の部分で山下委員から話があるかも知れませんが、29日が教育委員会連合会、教委連の総会研修会が佐世保で行われます。これは全員参加ですので、後で連絡をしたいと思います。

給食センターの13日の給食費徴収説明会ですが、毎回、振り込み方式にして欲しいと要望が出てきます。そこで今年も意見が出たので、挨拶の段階で少し入れました。確かにご迷惑掛けるし、ご不安も大きいと思いますが、本町では今100%の徴収が来ています。これは県内自治体としては、他に類を見ないというところと、そのことによって安全安心、そして確実に栄養価のある食材、食事の提供が出来ているということで、ご苦労ご不安を掛けますが、ご理解ご協力をお願いしたいと最初の挨拶にいました。そのこともあったのか、もう諦めもあったのか、分かりませんが、このことについては質問や意見はありませんでした。その中で、今後の方向性として、完全無償というような動きについて、積極的に教育委員会として、町長の方に申し上げたいと話をしてきました。2年前と変わってないなければ、第2子以降の無償というのは、県内で最大の補助だと思っています。この前新聞で出たのが、3子以降の無償と中学3年生に限った全額無償というのが、川棚町で始まったということで、大きく載っていま

した。様々国の動きも完全無償化について議論がスタートしたところもあると思いますが、前川町長が、移住定住の促進と少子化対策を公約として掲げられていますので、選ばれるまちづくり、保護者世帯への支援ということを、教育委員会としても、強く要望していきたいと思っています。委員の皆様からも積極的にご意見をいただいて、町の方に上げていけたらいいなと思っています。

それから最後になりますが、教育委員会主催による、町長や町内の関係校長あたりとの意見交換会を行いたいと思っています。去年は4月17日に計画をしていたようですが、結局は流れてしまいましたが、5月の中旬あたりのどこかにということで、改めてご案内していきたいと思っています。是非、久方ぶりに町内の校長と、教育委員さん皆様方の意見交換、情報交換ができれば良いなど、計画をしていますので、日程決まりましたらお願いします。ご質問ご意見ございませんでしょうか。

馬場委員

3年ぶりに卒業式、入学式に参加をさせていただきました。中学校は一緒に行きましたが、小学校の方は今回初めて参加をされた方もいらっしゃいますので、出来れば一人ずつ感想をお願いしたいと思います。

まず私が東の卒業式に行ってきました。東の卒業式は人数が少ないから、1年生から6年生まで全員参加する以前の卒業式が行われていました。素晴らしい卒業式でした。特に在校生と卒業生が一緒に歌を歌う。非常に良い卒業式が出来たと思っています。一つ残念だったのは、保護者代表の挨拶の時に、残念ながら、保護者が誰も立たずにじっと座っていました。それと校歌を歌う時も座っていました。あれはちょっとおかしいなと思いましたので、校長にも言いましたが、代表が挨拶する時は、保護者も全員立った方が良いでしょう。そういったことはちゃんとやった方が良いでしょうと思いました。

中学校の入学式で感じたことは、皆さんと帰りにお話をさしてもらいましたが、校歌については、1年生は知らないとは思いますが、在校生が何人かでも出て行って、校歌を皆で歌ってあげてやった方が良いでしょうのかなと思いました。コロナで代表しか出ていないのは分かりますが、入学式で校歌がないのは、ちょっと変だなと思いました。以前はブラスバンドの生演奏で入退場が行われていたことを知っていますので、ものすごく寂しいなという感じはしますし、また、校歌も無いということがちょっとどうかなと感じました。整然とした入学式ではありましたが、以前からの思いをすると、ちょっと物足りない箇所が今回見られましたので、お話をさしてもらいました。他の方も今回初めて参加されてどういった思いを持たれたか、ご意見いただければと思います。以上です。

山下委員

南小学校の入学式に参加させていただきました。子供たちは静かに座って、時間も短かったので、ほのぼのとした入学式で良かったのではないかと思います。

6年生からの言葉がありましたが、4人でスカーフを巻いてレンジャー

の姿で振り付けをして、挨拶のことだけ1年生の方に伝えられて、1年生の記憶には良かったのではないかと思います。いろいろな話をせずに、朝来たら、校長先生が校門に立っておられるので、挨拶しようというようなことでした。なかなか6年生のアイデアも良かったのではないかと思います。

式次第をいただきましたが、今は個人情報で地区名を記入されてなかったので、どの子がどこの地区なのか気になる場所でした。仕方ないことだと思いましたが、大変良い入学式でした。

松尾委員 中央小学校に行きましたが、地区名は書いてあったと思いますが、それは統一ではないのでしょうか。

森田教育長 統一ではないです。

松尾委員 自治会長さんとか学校支援関係の方が10人近く並んで、民生委員の方が反対側に並ばれていました。私は、校長先生の横でしたが、間に1年生がいましたが、誰も立ち上がることも振り返ることもなく、すごく落ちついた1年生で、校長先生も誉めていらっしゃいました。去年は誰かが立ち上がったり、後ろを向いたり、普通の音量でおしゃべりをする子供が何人かいて、去年の入学式とはちょっと違っていましたということでした。恐らく少し緊張感があったのではないかと思います。真ん中に座って、来賓の方も並んでいるしということで、1年生なりにちょっと緊張感を持って座っていたような感じでした。

保護者の方も、お二人でみえる方がほとんどで、お父さんの出席率が高かったなと思いました。時々、お爺ちゃんお祖母ちゃんの姿が見えたりしていましたが、それは家庭の事情でお母さんが行けないからとかということがあったと思いますが、皆元気にちゃんと返事もしていましたし、凄く良い入学式でした。

森田教育長 保護者の参列は、中学3年生の卒業式でも、今頃はご両親で来られます。ご夫婦揃ってということが多いです。言ったようにソーシャルですから、そうなれば保護者もぎゅうぎゅうになるので、逆に在校生が入れないところがあります。嬉しいことではありますが、今は入学式でもほぼご両親で来られることが多いです。

先ほど馬場委員さんからの中学校の校歌については、その時は2年生3年生がオンラインで入学式に参加していたということと、校歌を歌えるスタッフが、先生方の対応でも良かったのなかというところもありますので、小学校は在校生が参加していたということもあったと思いますが、小学校では歌えているので、校歌については式歌として、やっぱり入れ込むべきだと思っていますので、それについては指導していきたいと思っています。

先ほどの、保護者の挨拶の時に立席をしないとか、校歌の時に立席をし

ないということは、その時に司会進行が言うべきだとは思いますが、そういう伝統的なものが、いつの間にか消えて行っているということがちょっと残念なところではあります。司会進行の方で、校歌の時は一同起立とか声を掛けるはずですが、保護者の方もご起立くださいとか案内できれば良かったと思いますが（そこが無かったとの声）、そういったところが反省だったのかも知れません。なかなか保護者さんは直ぐには立たれませんが、1人が立てばそれにつられて立たれるとは思いますが、何かその辺は残念ですね。そういう繋がりというか、何かそういう点では、コロナのデメリットの部分だろうとは思いますが、ただコロナのメリットの部分としては、私たちの告辞や祝辞がプリント配付になったことで、15分ぐらい時間が短縮できたことは、返って子供の集中を考えた時は良かったのではないかと考えています。それで式の威厳が弱くなるとか薄くなるとかいうことは殆どないと思うので、このやり方で良いのかなと考えています。ただ中央は、PTA会長さんが祝辞として登壇されたというのを聞きました。それはやり方だと思っているので、そこまでは詰めなくても良いとは思っていますが、もう登壇者は基本的に校長の式辞のみでも十分にできていると思いますし、むしろ時間短縮もできるし、礼儀作法などの指導が少なくても済むというメリットが大きいのだらうと思っています。今後こういうやり方によって変わっていくだろうし、変えていって良いのではないかと考えています。

学校運営協議会の委員さんたちも参加して良かったということでした。中学校は6名しか見えられずにやや少なかったですが、東小学校も15名、20名近くの方がお見えになっていました。

山下委員

南小学校の1年生の子供たちが、ちゃんと落ちついて座っていたのは、校長先生が前もって保護者の方に、子供たちもいきなり体育館に入場して、ちょっとパニックを起こしたりするかも知れない。そういう子供さんがいると、保護者も多分、心苦しいところがあるだろうから、子供さんに関しては、前もって体育館をご覧くださいと配慮されていたことが良かったのではないかと考えています。

森田教育長

小学校はどこの小学校も情報が入ってくるので、入学式の式場が出来上がってから、入学式前のリハーサルという形で、ここでこうするのですよということを保護者と一緒に、そういった配慮はどこの小学校でもやっています。

3番4番に行きましょう。

3) 町及び教育委員会職員名簿について

4) 令和5年度児童生徒数（4月10日現在）について

（別紙により朝長次長から報告）

朝長次長 はい。6 ページをお願いします。町及び教育委員会関係の職員名簿でございます。

【資料に基づき説明。2点訂正。教育委員会の中で教育長職務代理者が小柳委員となっているが、山下委員の間違い。給食センターの運転手の田中勝義さんが抜けていたので、口頭で説明。】

7 ページです。5 年度の学級、児童・生徒数です。

【資料に基づき説明。南小学校4年のクラスが1 クラスとなっているが、2クラスの間違い。続いて5年が2クラスとなっているが1クラスの間違い。】

森田教育長 町及び教育委員会関係の名簿と、7 ページが4 月10日現在の児童生徒数になっています。中央小学校と南小学校が微減というところでしょうか。郡内では、まだまだ維持されている方だと思います。南小学校が以前に比べたら圧倒的に減ったとは思っています。

なお、学力向上支援員さんが昨年まで14名だったところを2名増員して、今15名まで確保出来ていますが、あと1名、支援員さんが欠の状態です。保育士又は介護、医療、福祉関係の資格を持っている、あるいは経験がある方が周りにおられるようであれば、是非ご紹介いただければありがたいです。中央小学校を4名から5名にしたいと思っていますが、今4名のままです。町内で無くても構いません、佐世保・大村・有田でも構いませんので、どなたか、保育士、介護、医療、福祉の資格または経験があるという方で、男女は問いません、どなたか適材な方がおられたらご紹介いただければと思っています。明日の校長会まで待って、いなければ公募という形で取り組んでいきたいと思っています。知り合いにずっと声かけしていましたが、なかなか今回は良い返事がもらえませんでした。いよいよ公募という形にしなければいけないのかなと思っていますところ。

それでは、議題に入っていきます。就学援助についての認定です。よろしくお願いします。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長 はい。今回は継続申請で18件、経済的理由が7件、児童扶養手当が11件、それと新規が2件で、それぞれ1名ずつ申請があります。

【資料に基づき説明】

森田教育長 継続については全て1.2を下回っていますので、このまま継続ということよろしいでしょうか。

馬場委員	1番の方は状況がかなり厳しいですね。
森田教育長	この方ではありませんでしたか、入学準備ができないので、早く認定してもらいたいという相談があった方は…
馬場委員	そうですね。かなり厳しいと思います。
森田教育長	それでは、継続については、そのまま認定ということでよろしいでしょうか。
	【出席委員、全員了承】
	それでは、新規の経済的理由についても、数値的に0.42ということですので、状況的にはよろしいでしょうか。
	【出席委員、全員了承】
	児童扶養手当の継続・新規についてお願いします。
朝長次長	こちらについては、もう子育ての方で既に認定をいただいていますので、児童扶養手当の対象になれば、自動的に就学援助の対象となりますので、よろしくお願いいたします。
森田教育長	では、継続申請が18軒、新規2件についても認定したということで、よろしくお願いいたします。 次、主任等の任命についてお願いします。

2) 小・中学校主任等の任命について

朝長次長	8ページ目からですが、各学校から主任等の発令ということで申請があります。東小学校は4名の先生、中央小、南小、中学校という形で、それぞれの先生が、それぞれの役職で申請があります。これにつきましては、既に辞令を発令していますので、よろしくお願いいたします。
森田教育長	持ち寄り議題は後に回して、その他の部分で2ページ目の民生委員児童委員との意見交換会です。

5. その他

- 1) 民生委員・児童委員との意見交換会について
- 2) 学校給食センターの視察について

朝長次長	そろそろコロナが落ちついてきましたので、一度、日程調整をして、見学と給食の試食をさせていただきたいと思っていますが、いかがでしょうか。
森田教育長	今回の定例会を給食センターで行うことでどうでしょうか。給食センターにも同じくらいの会議室があるので、そこで定例会を行って、最後に試食を行えば、1回で済むと思います。少し早く9時半ぐらいから始めれば給食にも間に合うと思います。
太田係長	だいたい12時にはできると思います。
森田教育長	それでは、いつも通りに始めて良いですね。給食センターの視察については、可能であれば、5月の定例会を給食センターで行うことで対応したいと思います。 それでは、持ち寄り議題に入りたいと思います。明日校長会もありますので、ご意見お聞かせいただければありがたいです。

3) その他

朝長次長	済みません。その前に歴史文化交流館の入館者の令和4年度の資料を付けています。1枚めくっていただいて、年間19,059人の来館があつています。3年のオープンからは41,604人、4万人を早々に超えています。それと平日の平均、土日祝祭日の平均を載せていますが、1日平均80名の方が来られています。 3年度は、東小と中学校の来館はあつていて、中央と南小が来られていませんでしたが、4年度に訪問していただいています。それと、アンケート結果も載せています。 もっと学校の教育とか、あと地域の方々にもっと利用して欲しいという話をしています。自治公民館発表を行っていますが、新しく指定されたところに入って行って、学芸員が出張勉強会的なものを行って、公民館発表のテーマとか考えてもらえれば良いのかなと思っています。また、そういった中で地域のお宝発見ではないですが、そういった物が出てきた場合は、歴文で地域の展示会をすとか行っていけば、地域の方々ももっと歴文の方に足を運ばれるのではないかと思います。学芸員も、いろいろと忙しくしていますが、今年度そういったことが出来ればと話をしています。
森田教育長	歴文は好評であります。歴文運営委員会で、有田の九州陶磁文化館の鈴田館長とか、国際大学の落合教授あたりも、おおむね良好というか、そういう意見をいただきましたが、県内でも優秀な学芸員2人が、その学芸員としての業務よりも、他の業務に余りにも入り過ぎている、もうちょっと人的な配置を考えていかなくはないといけないという厳しいご意見をいただ

きました。博物館、ミュージアムとしての年表などの資料を、年度ごとに作成をしていないということはあってはならないということですということで、大変厳しい意見をいただきました。本来、学芸員はそういうことをやらなければならないものが、それ以外の業務が多過ぎて、なかなかその時間が取れないのではないのかということの指摘がありました。そのことは町の方にも伝え改善していきますとお詫びを申し上げます。また、今次長が言いましたように、地域や学校との一層の連携ということをもっと特色あるものとしてアピールした方が良いですねという助言もいただきました。今後そこあたりは改善していけたらと思っています。

それでは、山下委員さん、理事会の内容について、お願いしたいと思います。

山下委員

昨日の理事会に参加して参りました。9ページに事業計画案にありますが、5月29日に総会と研修会がアルカスSASEBOで予定されています。内容につきましては、15ページ、16ページ、17ページに記載をされていますのでご覧ください。また17ページに合同研修会ということで、分科会がございます。また追って文書が来るとしますので、こちらの分科会に参加希望を取りたいということでした。それから21ページには、研修会の当番市町が載せてありますが、令和7年度に東彼杵郡が入っていますので、こちらで準備していかなければならないというお話がありました。それと令和7年度に、長崎県で九州総会と九州研究大会も開催されるということです。

森田教育長

9ページに戻っていただいて、まず5月29日に総会と合同研修会がありますので、これに参加をし、恐らく夜が情報交換会ということになると思います。県教委の指導もあるようです。

そして2番の秋季行事ですが、新任の松尾委員については去年長崎で参加をされたと思いますが、それを兼務するということでしたので、この11月17日に佐世保市で開催される教育委員会研究大会については、また全員が参加をする形になると思います。

3番以降はこんなことをやっていますということです。ただ行事としては、まず5月と11月の会議に参加をする形になると思います。

あとは理事の方で山下委員さんが出てくることがあると思いますが、次の10ページの方がそういう諸会議の部分で小委員会が入っておりませんので、5月29日と11月17日が会議ではないかなということを思っています。

ただ10ページの下の方に、九州地区市町村教育委員会連合会、佐賀大会が佐賀で行われますが、もしかしたら動員的なものが入ってくるかもしれません。理事さんまでなのか、委員全員なのか、ちょっと分からないところはあります。昨年まではコロナの関係で理事だけでしたが、それもオンラインだとか、何か変わってきているかもしれません。

今年度から事務局は川棚町に移動していますということが14ページに載っています。15、16、17ページは先ほど話されたとおりで、特に17ページ

の第1から第4分科会については、それぞれ1名ずつどこかの分科会に入
っていただくようになっていきますので、報告もありますので、希望を取
りたいと思います。

【参加分科会調整】

それでは、小柳委員さんが第1分科会、山下委員さんが第3分科会、松尾
委員さんが第4分科会、馬場委員さんは都合で欠席されるということで、
第2分科会は事務局で入りたいと思います。

昨日の理事会のことについて、報告を終わります。持ち寄りに戻りま
す。ご意見ございませんか、よろしくお願いいたします。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

馬場委員

一つ良いでしょうか。先ほどの報告の中で、中尾と鬼木が文化的景観の
認定に向けて調査をされていまして、町民音楽祭の時にその報告会が行わ
れ、参加しました。4年前からこの文化的景観の調査をずっとされてい
て、来年認定に向けて申請をしようという形になっています。一応これも
教育委員会の管轄になると思いますので、皆さんには知っておいてもらい
たいと思いますが、長崎県には七つの文化的景観遺産があるということ
で、ほとんどが平戸とか五島の世界遺産絡みの関係だそうです。しかし、
今回の中尾と鬼木が初めてそういう世界遺産の絡みではなく、先生方が4
年間本当に調査をされて、その調査報告会がありました。例えば家屋の調
査、昔から中尾に建っている、鬼木に建っている家屋の調査をされて、あ
るいは墓の調査、昔からの中尾と鬼木の墓の調査をされて、そこからどう
いう関係性があるかということとか、そういった報告をされました。私
も中尾に住んでいて、今日本遺産の登録にもなっていますが、今後いよいよ
この景観遺産登録となると、かなり規模が大きくなっていきますので、
私も意識をして生活をしないといけないなというような感じになってきて
います。私は以前、中国の黄山というところに何回も登っていましたが、
世界遺産の登録になる前には、ゴミも結構落ちていて、山の中でタバコも
吸っていましたが、世界遺産に登録されてからは、そんなことが全く出来
なくなりました。ゴミも毎日のように人夫さんが、落ちそうな階段が幾つ
もありますが、そこを天秤棒を担いでペットボトルとかゴミを運んでいま
す。そういった掃除をされる姿を見た時に、登録されればこういう対応を
していかなくてならないのかと思っています。例えば富士山でもそうす
ね、ゴミの対応とかされているように、やっぱり地元民がそれに対して如
何に意識を持つかっていうことになってくるのだろーと思います。ただ生
活をしていたところを、登録された以上はやっぱり住民意識をもう少し高
めないといけないということで、先ほど次長が言われた学芸員を各地に派

遣して、そういった地元をもう少し知ろうということは良いことだと思います。中尾は1,500人ぐらい住んでいた時代があった時には、鬼木からたくさんの食料とか、金屋からとか、裏の不動山からとか、いろんなものが入ってきていて、山の中だったけど、都市的な基盤も出来ていたという話をされていました。やっぱり凄かったと感じました。だから、そういった意味では、この文化的景観遺産というのを是非成功させて、県内で世界遺産絡みでない初の景観遺産を、波佐見町で出来るというのはありがたいことだと思います。中尾はやきものを作り、それを鬼木の稲わらを使って梱包した。中尾にはたくさんの人が働いていたから、鬼木の棚田で米をたくさん作ってそれを食料とした。中尾には大工さんはあまりいなかったが、井石とか鬼木の大工さんたちが中尾で建物を作ったとか、そういう関連性がもの凄くあるということを、いろいろ研究されていました。そういったものがこの土地にあるということは、本当に良いことだと思います。私もこの報告会を聞いて、何らかのアクションを今から起こさないといけないなということを感じさせてもらいました。特にこの事業は、教育委員会の一つの管轄でもありますので、皆さんもそういったものを、感じていただければありがたいかなと思います。来年に中尾と鬼木の景観遺産の申請が認可されるよう今動いていますので、知っておいていただければありがたいと思っています。

朝長次長

その関係ですが、先ほど馬場委員が話された中尾鬼木の保存活用計画を今年度作らないといけません。4月の自治会長会で、鬼木と中尾の自治会長さんと話をして、GW明けに各班から2〜3人ずつぐらい集まってもらい、もう一度説明会を行うよう打合せを行っています。日程調整は地元にお任せしています。もし日程が合えば、大学の先生方もお見えになるかも知れません。そこでもう一度、話をして地元の方の意識をちょっと高めてもらうことと、それと同時に、景観遺産ということでちょっと規制が掛かってくるような話もしていかなければなりません。看板とかどうしまししょうとか、そういったものを、地元からの要望も聞きながら、建設課と一緒に進めていかなければなりません。そういう会合を連休明けに開催するよう準備をしています。また、日にちが決まり次第、皆さんにはご連絡したいと思います。そこから次のステップに入って行こうと計画をしています。

馬場委員

もう一つ良いですか。私たち、毎年日本フィルのメンバーでコンサートを開いていましたが、ここ3年間ほど、近場の九響の人を呼んだり、大村の室内楽の人を呼んだりして、日本フィルの方を呼んでいませんでした。今回、山田さんと言われるチェリストですが、この方は結構波佐見にも来られ、結構テレビにも出てられますが、長崎の方であちこち回られていて、ちょうどこの日が空いたということで、波佐見でどうですかと言われました。最近、日フィルをしていなかったのも、波佐見で受けましょとなり、講堂でチェロを弾いてもらおうと企画をしました。その時、去年引

っ越しをされてこられた今中学1年生の女の子がいますが、先生の話によると、この子が結構ヴァイオリンを弾くということを聞きました。それと発表の場も無いということも聞きましたので、プロとの演奏会ではとは思いましたが、間にコーヒータムを作って、その時にちょっと演奏してもらおうという企画をさせてもらいました。5月20日の土曜、講堂で開催します。チェロの音は講堂では素晴らしい音がすると思いますので、是非来ていただきたいと思います。山田さんがたまたま空いたということで、旅費も宿泊費もいらなくて、結局私たちも安くできるので助かっています。そういうことですので、優雅なひと時を味わってもらいたいなと思っています。是非お越しく下さい。私からは以上です。

森田教育長

他ありませんか。

小柳委員

実は、PTAの方から相談を受けまして、最近子供の遊び場が少なくなっているということで話がありましたので、教育委員会にお邪魔して色々話をしました。現場は寺の下の子童公園で、子供たちが遊んでいる時の子供たちの声が周りの方からうるさいという内容で看板を貼ってあるという内容でしたので、直ぐに教育委員会と現場に行ってきました。しかし、遊んでいる形跡もありませんでした。その看板もありませんでした。何か所か取付けてあった跡がわかりましたので、確かに看板はあったのではないかと思います。

そのPTAのあるメンバーさんの話によると、子供たちが遊ぶ場が無くなってきて、友達の家でテレビを見たり、スマホをしたり、いろいろなゲームをしたりとか、なかなか外で思いっきり遊んでいない。だから扁平足になったり、運動能力も低下してくるのではないかと、ある先生の声の聞いたりして、心配になるので、子供たちが思いっきり遊べるようなところが欲しいという話になっているということでした。しかし、そういった周りの環境で遊べないとなると、子供たちの環境も劣悪になってくるし、今後、そういった面において、子供たちが伸び伸びと遊べるような場所を確保する必要があるのではないかなという話でした。町に聞けば鴻ノ巣公園とかあるじゃないですかとなりますが、彼が言うには、そういった公園ではなく、もっと身近な公園ということでしたが、そうすると果たして公園がどこに、いくつあれば良いのか分かりませんが、そういったお尋ねがありました。

子供たちは学校ではスポーツやクラブを伸び伸びとやっているが、公園で遊ぶとなると、今回のような制限が掛かるような公園がでてくると、今後行政の対応というところをどうしていくのか、どう考えていけば良いのかということ投げかけられましたので、相談をしたところです。こういった問題は、他の地域ではあっているかどうか分かりませんが、これは今後大きい問題になってくるのかなと思っています。初めてのケースだったので、直ぐに相談に上がったところです。

馬場委員

LINEで上がっていた写真ですね。私の方も一つ、今言われた件ですが、実は私も関係があります。私も水曜日の寺の下会館を使って教室をやっていますが、子供たち、特に男の子が半分ぐらい来ていますが、教室をしている時、やっていない子どもが遊びに来たりしています。その時は子供がたくさんいるような状況になりますが、周りの人からやっぱりうるさいという声もよく聞きますし、悪さをするする子が中にはいます。例えば会館にゴミ箱がありますが、ゴミ箱から引っ張り出すとか、近所の物をいろいろ勝手に引っ張り出して遊ぶとか、そんなことを結構会館の周りではやっているようです。我々も言われますが、我々の会館の中で教室をしているだけだから、そこまでは関知はしませんが、会館の周りの方ではそういった結構悪さをしていて、今回のような看板がたぶん貼られたのではないかと思います。

しかし、公園は公園ですから、公園の中で発散することは良いことかなと思っています。逆に公園で遊ばなくなったら、今度は田んぼの中に入って遊ぶようになっていくようです。悪さをするというよりも、昔は私たちもそんなところで遊んでいたからですね、そんないろいろなこと言えませんが、ちょっと目くじら立て過ぎかなと思います。保護者というか周りの人が何人かおられます。それを私は教室をしていて感じているところです。しかし、実際子供たちが集まってくると、いろんなことをしだして、蛍光灯を割ったりとか実際にしています。八百八さんの駐車場も今ロープを張っていますが、中に入ってきて、お店の方もいろいろ言っています。だから私も教室する時は、結構気を使いながらやっていますが、本当は公園で遊んでくれると良いかなと思っています。今度はそれがうるさいと言われると、また違った問題ですね。

だから、そういったところがあっても良いのかなと私も感じています。子供たちには話はしていますが、子供らしくて良いのかなと私も思いますが、悪さをしてもらうことは困りますが、そう思いました。

しかし、この看板にはちょっとびっくりしました。こんなのがあったのかと。

松尾委員

たぶんインターネットから引っ張ってきていると思います。ネットに上がっていたので、それをそのまま多分印刷か何かしてあった文言でした。

3月の定例会の時にも小さな公園の話は出たと思います。小学校の運動場みたいなものはいらないけれどという、そういう少し話をさせていただいたと思いますが、やっぱり子供たちが行くところがないんですね。同じ問題だと思います。そういう隙間を見つけては遊んでいますが、子供が何か悪さをした時、自分の子供ではなくても怒れる関係っていうのが今ないので、怒られた、あのおじさんに怒られた、あのおばさんに怒られたと言って、また親から文句が来るという、そのやっぱり、世代の思いの違いとは思いますが。

折敷瀬郷も結局遊ぶところがないので、舞相公園に行くか、寺ノ下の方まで行くか、もう小学校の運動場に行って遊ぶしかないんですが、遊ぼう

と誰か一人言えばみんな「行く行く」っていう、みんな外で元気に遊ぶ子供たちです。それで遊ぶ場所がない。寄って誰かが野球しようって言ったら野球、サッカーしようと言ったらサッカーをしたりしています。それこそ6時ぎりぎりまで、もう早く帰りなさいって言わないと帰らないぐらゐ、波佐見の子供は元気に外で遊ぶ子供たちです。でも何かちょっと窮屈なところがあって、少し遊ぶ場所はやっぱり欲しいです。

渡邊指導主事

以前、宿の小さな公園の横の家の方が、ガラスが割れているというお知らせがあって見に行きましたが、確かに家の大きなガラスが割れていました。中央小学校の子供たちに確認をしてもらいましたが、結局分からず、ということもありました。

小柳委員からの話があって、一緒に現場に見に行きましたが、丁度いい広さの公園で、とても子供たちにとって遊びやすいようなところでした。今、馬場委員さんが話されたように、いたずらをやっているのも、その辺に関しては放課後の遊び方とか、公園での遊び方っていうことを、学校の方から再度指導をしていかないといけないと思いますが、どんどん遊び場、川遊び、山遊びが今全く出来ないような状態の中で、そういったところまで取上げていくのはちょっと忍びないとは思いますが。

馬場委員

寺の下の公園は、結構広いし、近くでもあるので良いのですが。

渡邊指導主事

サッカーとか、ちょっとした物を使って遊ぶってことも出来そうなところですね。

馬場委員

何か寛容でないですね、やっぱり昔と違って、目くじら立てて子供たちについていうのはちょっと寛容ではないですね。本当にかわいそうだなっていう感じがします。

森田教育長

外遊びをしなくなった理由が何なのかなということを考えないといけないと思います。場所なのか、そういう周りの危険性なのか、何なのかよく分かりません。しかし、近頃ではテレビでも言っていますが、そういう大人のうるさいとかの反応は、以前は無かったと思います。以前は道路で遊んでも、山で遊んでも、海で遊んでも、川で遊んでも、誰からも何も言われませんでした。交通事故の関係、事故の関係、人さらいなんかもあるかも知れませんが、結局周りの社会の様相で、子供たちの遊び場がどんどん追いやられて行って、その逃げ場としてお家の中っていうところを見つけたら、今度はまたそこでも怒られてという、子供たちは子供なりに、やっつけられないよと思っているのかも知れません。

どこかで大人が頑張らないといけないかなと思う時、広場的なものもきっとあるだろうと今聞きながら思いました。しかし、自分たちが子供の時にやっていた、ちょっとした悪さの部分、極端な言い方をすれば、生き物を殺めたりとか、変なことをしたりとか、自分たちの時にはそれしかして

いせんでしたが、返って規制、規制の中で育っている子供たちの方が、大人になって何をやるか分からないとか、加減が分からないとかは、きっとそうだろうと思います。体罰を是認するわけではありませんが、叩かれる痛みを知っているからこそ、叩くことを止めるということも、逆の心理としては絶対あるだろうと思います。加減が分からない、ゲームの中で、人を殺めたり、殴ったりするゲームを小さい時からやっていると、その殴るという行為に対しての痛さを全然自分は感じないから、人を殴っても自分は全然痛みを感じないということが、今の実態だと思います。私たちは、叩くことの痛み、お互いの痛みを知っているからこそ、加減、思いやり、理性というのが働くのだろろうと思いますが、それが今の子どもたちにコントロール能力がないということは、多分それが全てバーチャルであったり、間接的な部分があると思います。でも、そこに子供たちを追い込んだのは、私たちが作っている社会であり、大人なんだろうと思います。子供の姿は、大人社会の反響する鏡なので、ちょっと大きな問題だと思います。なので、どこかで大人側が発信していかなければならないと思うし、改めてそういう自然回帰的なもの、原点回帰的なものということとはとても大事だと思っています。ここを踏ん張りたいと思いますね。はい、どうぞ。

山下委員 先ほどの件で、学校のグラウンドで、平日とか土日の使用の制限はありますか。

渡邊指導主事 子供が遊ぶことに関してですか。いや、もうそこは全てオープンにしています。

山下委員 例えば、学校から一度帰って、荷物とかを置いて、学校のグラウンドに遊びに行こうとか、遊んだりとか、大丈夫なのでしょうか。

渡邊指導主事 それはもう自由に使ってもらっています。一度、帰宅してから家に帰ってからということであれば放課後の遊び時間になります。しかし、あまり子供たちが放課後とか、あるいは土日に学校で遊んでいる姿というのは、あまり見かけないような気がします。

山下委員 自分の子供たちの時は、平日は何か一度帰宅したら学校のグラウンドに近くても行けないような雰囲気みたいなものがあったような感じがしていました。土日は、友達とかを誘って、サッカーボールを持って行ったりとかしていましたが、何かそこ当たりの、学校も使えますというところがはっきりとあれば、近くの子供たちは行けたりもするのかなあとと思います。最近、自転車でうろうろしている子供たちが増えてきたという感じはしています。

森田教育長 基本的には学校は公開ですから、社会体育があっていない限りは全て開

放ですから大丈夫です。もしかしたら、先生の姿があつて行きづらいところはあつたのかも知れませんが、学校は基本的には開放です。遠いという理由もあるだろうし、どこか使いにくいところもあるのかも知れませんが、あと何となく意識するのも知れませんがね。

松尾委員

中央小は、平日はサッカーがあつたりしていますが、ない時には遊びに行っています。

森田教育長

そういった制限がある時は使えませんが、特に南小は芝生なので、いっぱい遊んで良いんでしょうけど。芝生は芝生で制限がありますので、スパイクは駄目とか、何かそういったところはあるんですが、基本的には地域の方、子供たちも含めて、放課後はフリーです。

でも本当に、学校、広場、道路でまず遊べなくなった、川で遊ばなくなった、池でも、とにかく全然遊ぶ場所がなくなりました。子供側からすれば、遊ぶ場所がないというのが多分本音でしょうね。大人側の理由として、怪我をする心配がないから家で静かに、本読んだり、ゆったりゲームをしてくれている方が、保護者も楽っていうか、安心っていうのは多分あるだろうと思います。残念なことに、全体的にそうやって行っているのではないかと思います。波佐見は町全体がビオトープと思っているので、もっとそれを活かしてやれればと思っていますが、なかなか厳しいですね。はい。他ございませんか。はい、どうぞ。

山下委員

今月のあいさつ運動は交通安全週間と重なり、たくさんの方が万年橋の交差点のところに来ていただきました。そこで、その日が入学式だったので、新1年生の通学の様子を見ることが出来なかったと、多くの方々からお話を伺いました。4月のあいさつ運動は入学式の後に実施が出来たらなということでしたので、ご検討していただければと思います。

渡邊指導主事

1年生が登校する様子を見たいということですね。

山下委員

そうですね、役員さんとかから、いつが入学式ですかと聞かれて、今日が入学式ですよ。だから、入学式後に、どういうふうに新一年生が通学しているのか様子を見てみたいということでした。

渡邊指導主事

集団登校の中で新一年生が入ってですね。なるほど。はい。

森田教育長

日程的にどうなるかですね。6日が始業式、これも土日が入くると変わってくるかもしれません。7日が中学校、8日が小学校の入学式、たまたまそうなれば良いですが、あいさつ運動の絡みとか、確かにそこはあつた方が良いのかもしれませんが、今年のはたまたま10日の月曜と入学式が重なったということだと思います。こういったことは定期的にまたあるかも知れませんが、あいさつ運動は注意していた方が良いのかもしれない

ん。他ございませんか。はい。

小柳委員

はい。中学校の校長室のやきものの展示が前から変わっていないことですが、私も前々から気にはなっていましたが、その後、工業組合の事務長とやきものの入れ替えについて話をしまして、学校としても、今の違うところに保管場所を考えているところだという話をいただいていますので、その対応はできると思いますが、ただ教育委員会の方から依頼があれば、自分たちは直ぐにでも動けますということでした。商業組合の方にはまだ話をしていませんが、そういう流れで入れ替えができそうなので、よろしくお願いします。

森田教育長

中学校から直接ではなく、教育委員会から直接依頼をするようにしたいと思います。多分中学校は美術教室のところの整理整頓ができれば、そこに移すと思います。はい。伝えておきます。

今、気になるのがインフルエンザが流行しています。松尾委員さんに聞こうと思っていますが、中学校と中央小学校です。

渡邊指導主事

済みません。中学校で全体が本日中で21名。3年4組が8名、欠席が4名、40名のうちの12名ですから約3割の子供たちが休んでいるという状況です。これまではここでコロナの報告を行っていましたが、コロナは全く報告が上がってきていませんが、インフルエンザが逆に置き換わっているところです。このことについて中学校とも学級閉鎖の措置について、検討していく必要もあるのかなと思いますが、今、松尾さん、医療現場ではどんな状況ですか。

松尾委員

中学校の方は先週から中学校の野球部の子供が何人か続けて出ています。野球部の保護者さんには顧問の先生から出ているので、気をつけてくださいって言われて、うちの子が今日の夕方から熱が出ましたっていう連絡で、検査をするとインフルAですね。でも、AもBもいます。今中学校の方でしたが、中央小学校の6年生も、6年1組が多分5人、昨日の時点で多分5～6人はいるなと思います。男の子が多いです。うちで検査した中では女子はいなかったです。その家族の方が、昨日息子が罹りました。次お父さん、次にお母さん、今日はお姉ちゃんと、家族全員が1日おきに発症して、その家族は全部Aですね。

コロナは、大人の方がポツポツいます。ゼロではありません。コロナは全部大人の方で、佐賀の方に仕事に行ってる方とか、町内で仕事をされている方とか、行動範囲を私たちは一応聞きますが、仕事に行っているぐらいで特別出かけてはいないとか、あと60代の方は、私はスーパーに買物しか行きませんという方もコロナ陽性でした。もう結局どこから誰からもらってきているか分からないけれど、ただ前のようには確かに重症化はしていません。ひどい肺炎であったり、エクモがいるような、透析をしないとイケないとかというような重症な方は、少なくとも町内、郡内に

はいません。やはり熱は39度と高いですね。

あとは、インフルエンザのAとBで、若干症状が違います。高い熱が出るのはAという印象があります。Bの方は38度ぐらいだけど、関節が痛いとか、腰が痛いとか、だるくてたまらないとか、症状が違うような気がします。ただ、コロナの前の今までのマニュアルでいくと、通常は10月11月にワクチンを打って、12月に忘年会、クリスマス会があって、1月にAが流行って、それが少し下火になるとBが流行するというのが教科書のとおりです。世界的にコロナが始まってから2年間ぐらいピタッとインフルエンザがなくて、去年ぐらいからインフルエンザが出始めて、Aの波が、1月2月ぐらいに来ました。インフルエンザの波がAからBに少し移行しましたが、まだちょっと下火になって、またAが出てきたというような感じで、もうウイルス学級の先生たちもよく分からない。インフルエンザも変異するので、ウイルスの株っていうのが変異するので、症状も毎年違いますし、どういうふうに変化していくか分からないっていうことで、もう1回Bの波が来るのかも知れません。もう一つは、以前は冬の疾患でしたが、もう時期に関係なく、年中どこでも発症するであろうという動きに変化したというウイルス学会の発表でした。

渡邊指導主事

中学校ともやり取りをしています。今コロナのマスクは本人の判断で、つけるも、外すも自由ということにしています。しかし、このインフルエンザが広がってきているので、中学校としては、もう人に移さない、移らないということを視点に、マスク着用を推奨していききたいということでしたので、それでいきましょうと言っています。もちろん、強制ではなくて、推奨をしていきますというようなことでしたので、今ちょっとマスクについては敏感になっているところでもあります。そのような形で進めていきます。このインフルエンザについては、濃厚接触はないので、基本5日間の休みということだけですので、まだ治療薬もしっかり確立しているところもあるので、余りコロナほど恐れてはいないところですが、ちょっと注視をしていききたいと思っています。

森田教育長

昨日のニュースで9波の可能性が出てきたということで、8波よりも大きい波が来るだろうということも、専門家が言い出したので、いつ終わるのかって思っています。そうすると、またいろんな行事等々が、8波よりも大きいなら、どうなるかと思っています。

松尾委員

ニュース等では、なかなか言いませんけど、コロナは多分関東域とか、関西域の方では、かなり数が出ているようです。株もまた変わってきているようで、多分また少し波が来るんじゃないかって思っています。

森田教育長

いつものようにGWが終わってから、増えてくるのではないかと、いつものパターンにまた戻って7月8月に一つの山が来るっていうような、第9波がそこに来てっていうのは、半年後ですから、恐らくそうなるのかなと

思っています。早く市販されるような薬を作ってもらいたいですね。

松尾委員

今はコロナに対して、もうワクチンしかないんですよ。5月8日から接種が始まります。恐らく該当者の方、後期高齢者、65歳以上の高齢者の方にはハガキが行っていて、接種を希望するか希望しないか、役場のワクチン担当の方には、2,000近くぐらいは打ちたいですという返事が来ているようで、まだ見合わせたいですという数を含めると、多分3千ぐらいは返事が来ているということです。ただ、この次の波が来るぞっていうことが、皆さん分かると、やっぱり打ちたいですっていう方が増えるかなと思っています。

森田教育長

ちょっと時間が過ぎていきますので、5月の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

それでは、5月の定例会は、給食センターの視察を兼ね、給食センターで5月17日10時から開催したいと思います。皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。

※次回定例会予定 令和5年5月17日10時00分から
波佐見町学校給食センター

令和5年4月20日教育委員会定例会会議録署名	
署名委員	馬場 靖 治
	松尾 保子